

☆ 仙台市天文ボランティア会報 ☆

星空 ◎:好天 △:僅かに観望 ×:不可

実施日	観望会実施場所	参加人数	開始時刻	終了時刻	星空	投影	スタッフ数	天候	主な内容
7.20(土)	例会(第4回)	-	14:00	15:30	-	-	7名	-	8月の観望会の予定参加メンバー選定、勉強会
★ 8.3(土)	泉ピークベース	30名	18:30	20:15	△	有	4名	曇	温泉施設の前でのイベントの一つで実施された観望会
★ 8.3(土)	えぼしリゾート	20名	19:20	20:20	△	有	2名	曇	終わり近くになって奇跡的に快晴になった印象的な観望会
☆ 8.7(水)	仙台城跡七タナイト	-	19:00	20:30	-	-	-	雨	武将隊との恒例イベント。小雨模様で星空観望は中止
★ 8.10(土)	えぼしリゾート	4名	19:20	20:20	◎	無	2名	曇	1家族だけ曇りで始まり晴れてきた満足度の高い観望会
☆ 8.11(日)	メルキュールホテル	40名	20:00	21:00	×	有	3名	曇	台風接近で曇天バージョンとなった観望会
☆ 8.12(月)	メルキュールホテル	50名	20:00	21:00	×	有	2名	曇	台風がそれたが安全のため曇天バージョンとなった観望会
☆ 8.13(火)	メルキュールホテル	40名	20:00	21:00	×	有	2名	曇	天候に恵まれず曇天バージョンとなった観望会
■ 8.17(土)	例会(第5回)	-	14:00	15:30	-	-	8名	-	本日のえぼし:中止、9月の観望会の予定、秋用スライド他
★ 8.17(土)	泉パークタウン記念夜市	50名	19:20	20:20	△	有	6名	曇	開始時に一時晴れたので望遠鏡で月を見て頂けた
■ 9.21(土)	例会(第6回)	-	14:00	15:30	-	-	10名	-	10月の観望会の予定、合宿予定について
■ 10.19(土)	例会(第7回)	-	14:00	15:30	-	-	7名	-	11月の観望会の予定、南三陸合宿予定確認等
★ 10.26(土)	たまきさんサロン	49名	18:00	19:45	△	有	2名	曇	曇の中に何とか土星が見えた観望会
☆ 11.1(金)	富沢市民センター	44名	18:00	20:00	×	有	4名	曇	昨年に引き続き、曇天のオール室内観望会
★ 11.3(金)	えぼしリゾート	24名	19:20	19:30	◎	有	2名	晴	9、10月は全て中止。2ヶ月ぶりに行われた今年最後の観望
★ 11.3(金)	いずみピークベース	50名	18:30	20:00	◎	有	6名	晴	貴重な好天に恵まれた観望会
★ 11.9(土)	ホテル観洋・合宿	100名	19:30	21:00	◎	有	7名	晴	南三陸での合宿と一般向け観望会(スターパーティー)実施
■ 12.21(土)	例会(第8回)	-	15:00	17:00	-	-	7名	-	市サポートセンターでの年末定例の例会と終了後、忘年会

☆ 観望会のおよび 令和6年8月～

★ たまきさんサロン観望会・観望会【2024年10月26日(土)・報告:永井】

挨拶の後 ①今日の星空説明でスタート。低学年が多い事も有り、次は ②星座物語(鎖につながれたお姫さま)その後、土星の見え方、月や惑星の距離の話・光害の話をしました。その間、お二人には室外にセットした望遠鏡の見張り? と土星が見えないかどうかのチェックをしてもらっていました。話の区切りでトイレ休憩にし、外の様子を聞きに行ったところ「土星が見え始めた」との事でしたので、全員に外へ...。望遠鏡で土星を見るのが今回の一番の目的でしたし、皆さんの期待もそれ一点だったのは...? お二人は早々と土星を導入し楽しんでいましたが、私の目には肝心の土星が見えないのでした(泣)仕方ないので眼のいい子供たちに後ろに立ってもらい土星を指さしてもらいやっとのことでファインダーで確認した次第でした。赤道儀を使用したので、口径80mm、f640mmの望遠鏡に8mmアイピース使用でしたから倍率128で団子に串の土星を見てもらった訳です。雲だらけの中での開始でしたが、とにかくにもメインの土星を全員に楽しんでもらったので、皆さんの満足度も大きかったと思われます。

☆ メルキュールホテル宮城観望会【2024年8月11日(日)・報告:西口】

台風接近につき外は早々に諦めて、完全室内バージョンでの実施。お客さんはそれぞれ食事やお風呂を済ませて来るので、結構バラバラにやってきます。来た順に写真を選んで席についてもらいました。今回は予約なしなので人数が読めず、椅子は前の方だけで後ろは立見でした。挨拶の後、今月の星空、「オリオンとサソリ」、指を使った角度の測り方。最後に質問コーナーでしたが、手が挙がらなかったので「知識の球」の話をして質問がきました。・ペルセウス座流星群はもう見られないのか・星は雲があるとどうして見えないのか・誕生日の星座はなぜ誕生日に見えないのかというものでした。ユーモアあふれる解説に皆さん笑顔になっていました。

☆ メルキュールホテル宮城観望会【2024年8月12日(月)・報告:小林】

台風が予報よりそれてくれたので、屋上に出てみると、星が見えて、月もあるので準備しようとしたのですが、安全第一というホテルの方針により、完全曇天バージョンになりました。ホテルの方が進めてくださって、今月の星空、天文クイズ、星座物語・オリオンとサソリで終わり。途中から入る方、いなくなる方、と自由でしたが、星が少し見えていたからか、望遠鏡で観られると思いらした方も何組かいました。ペルセを観たくていらした方も多かったと思います。終了して外に出ると、半分は曇、晴れているところは薄雲がかかっていたのですがベガなど確認できました。帰る途中、川崎あたりは天頂バッチリ、夏の大三角確認しました。

★ メルキュールホテル宮城観望会【2024年8月13日(火)・報告:永井】

今夜が三日目(最終日)ですが、台風の影響も有り残念ながら全日星は見られず、曇天バージョンになりました。挨拶の後、晴れていたから見られたはずの「今日の星空説明」で開始。スライド・So-TEN-Kenを使っただけの説明でしたが皆さん熱心に聞いていました。次は、地球儀を使っただけの話でしたが、こちらから色々質問しながら進めるんですが、皆様シャイで判りません。が多かったです。引き続き星座物語は「くさりにつながれたお姫様」終わった後So-TEN-Kenの星図を見ながら、くさり座は何処に有りますか?の質問有り。夏の星座ですから載っていませんでした(笑)ここまで、約束の8:45になりましたが、延長で質問コーナーをしたところ娘さんといらしていただいていたお母さんから、昔の理科の時間でオリオン座を習ったことを思い出されたとかで、オリオン大星雲の質問が有りました。

★ 泉パークタウン50周年記念夜市観望会【2024年8月17日(土)・報告:近藤】

タピオ会場で行われた夜市の『お絵描きワークショップ』の参加者が「朝日」に移動し、手持ち花火とともに星空を楽しみました。雲が多かったため、観望は「月齢14の月」のみとなりましたが、望遠鏡で観月の迫力やクレーターを楽しんでくださいました。また、雲間から顔を出した夏の夏の大三角、北斗七星などを自分の目で確かめ、喜んでくださったかたも多かったです。雲ではなく、花火の煙に月がかくされることもありましたが、皆さん、夏祭りの観望会を楽しんでいました。雨が心配でしたが、無事終了。

★ たまきさんサロン観望会・観望会【2024年10月26日(土)・報告:永井】

挨拶の後 ①今日の星空説明でスタート。低学年生が多い事も有り、次は ②星座物語(鎖につながれたお姫さま)その後、土星の見え方、月や惑星の距離の話・光害の話をしました。その間、お二人には室外にセットした望遠鏡の見張り? と土星が見えないかどうかのチェックをしてもらっていました。話の区切りでトイレ休憩にし、外の様子を聞きに行ったところ「土星が見え始めた」との事でしたので、全員に外へ…。望遠鏡で土星を見るのが今回の一番の目的でしたし、皆さんの期待もそれ一点だったのは…。お二人は早々と土星を導入し楽しんでいましたが、私の目には肝心の土星が見えないのでした(泣)仕方ないので眼のいい子供たちに後ろに立ってもらい土星を指さしてもらいやつとのことのでファインダーで確認した次第でした。赤道儀を使用しましたので、口径80mm、f640mmの望遠鏡に8mmアイピース使用でしたから倍率128で団子に串の土星を見てもらった訳です。雲だらけの中での開始でしたが、とにもかくにもメインの土星を全員に楽しんでてもらえたので、こちらもホッとしましたし、皆さんの満足度も大きかったと思われそうです。

★ 富沢市民センター観望会【2024年11月1日(金)・報告:西口】

写真を選んでもらい、あいさつの後①今月の星空解説、夏から秋の星座。土星の見え方。彗星については、知らなかったという方が多かったです。②星座物語「くさりにつながれたお姫様」星座がいくつ出てきたかを聞いたら、6つときちんと答えられたお子さんがいました。③地球儀を使った距離の話、土星の輪の見え方の話、地球と月との距離感について、保護者の方が見事正解でした。④光害について、夜の日本の明るい写真にびっくり。⑤星座ビンゴ、賞品(写真か星座カード)が出るということでみなさん大いに盛り上がりました。⑥天文クイズ、夜空のほとんどの星は自分で光っている、という問題が一番難しかったようです。みなさん最後まで楽しんでくれたようです。

★ えぼりリゾート・観望会【2024年11月3日(日)・報告:大石】

18時30分過ぎには参加者が来られたので、参加賞の写真選んでもらい、その後土星を望遠鏡で見てもらいました。10名ぐらいの参加者が到着していませんでしたが、定刻には、観望会を開始しました。10分ぐらいで、今日の星空を説明し、早々に外に出てもらいました。まず目視で、夏の大三角 秋の四辺形 カシオペア座から北極星 を見てもらいました。月が沈み雲のない快晴だったため、目が暗闇に慣れてくると、はっきりと天の川見えてきて 初めて見た!と感激している参加者もいました。望遠鏡では、土星 アルビレオ 双眼鏡では 天の川の星々 を見てもらいました。その後、木星とプレアデス星団も上がってきたので、望遠鏡で木星とガリレオ衛星 双眼鏡でプレアデス星団を見て楽しんでもらいました。7時50分ごろに10名程度の参加者が到着して、同じ説明を早々にして、望遠鏡や双眼鏡を見てもらいました。アンドロメダ銀河を見たい!と言う方が3名いたので、双眼鏡で、ぼやっと白い雲のようなものを見つけてもらい、確認出来て楽しんでいました。8時20分の終了の時刻になったので、照明を点けてもらい観望会を終わりました。石子ゲレンデは気温5度以下だったと思われ、7時20分前に「寒くて帰ります」と5名のグループが帰られました。残念でした。とても寒い観望会でしたが、見てほしい星がすべて安定して見られたので、参加した方々は満足されたと思います。

★ 泉ピークベース・観望会【2024年11月3日(日)・報告:小林】

到着した頃は、すでに暗く金星が山際に見えていました。でも、スタートした頃は沈んでいて、ちょっと残念。お客様は流し込みで、土星を中心に、夏の大三角、うっすら天の川、アンドロメダ星雲などをみてもらいました。概ね見られたところが木星が登場しました。でも、土星に感動しすぎて満足したこと、寒かったことで、あんまり木星はみてもらえなかったかな? 2つ目の残念。望遠鏡が見れると知らなかった人もいて、「本格的!」と言っていた人もいました。さすがキャンプをする人たちなので、星の知識や興味のある人が多かったように思いました。夜景も綺麗でしたよ。少し灯りがありますが、ここで合宿、ありかもしれませんね。皆様、お疲れ様でした。

★ ホテル観洋・合宿 観望会(スターパーティー)【2024年11月9日(土)・報告まとめ:渡辺】

ホテルで定例実施しているスターパーティーに合わせた合宿で昨年に続き2回目の実施。開始前に全員でホテルの夕食をいただき時間に合わせて望遠鏡を準備し観望しました。一般のお客様に星々を見ていただきながら、自分たちも、時間をオーバーして星空を楽しみました。昨年に比べると、寒くなく好天に恵まれた楽しい合宿となりました。観望は月、土星、木星、すばる等、充実した観望が出来ました。また、明け方は、きれいな朝日も見られました。

観測レポート:紫金山・アトラス彗星(C/2023 A3)【2024年10月12,13日・報告:小野寺】

■近日点通過後も核が崩壊しなかったとの情報があり、早速、自宅から観望することに決定。体調不安があるので夜の遠征は控え、観望場所はマンションの西側にある非常階段の7階と6階の間(西側の階段は、ここが最上部)に決定。事前に階段からみえるビル群をgoogleマップで照合し、真西の方向を実際のビルで確認、その後、計算した彗星の見える方位角方向をこれまた見えているビル群で同定し観望。

■12日の観望

夕方の薄明の中で見ました。5時25分くらいからやと双眼鏡で識別できたのですが、高度がかなり低く数度ほど。キャンノンの防振5センチ(15倍)で中央集光のある光芒として見えました。一度場所がわかると、5センチ7倍の手持ちでも確認できるのですが、慣れないと見つけれられないかも知れません。光度見積もりは低空だったので難しいのですが、1等程度にはなっていた感じでした。

■13日の観測(この日は7階自宅のバルコニーからの観望)

5時50分頃から、肉眼でも確認できました。一度双眼鏡で場所を確認すると肉眼でも見えます。「そらし目」を使うと楽です。口径8センチのフィールドスコープでも観望しました。接眼レンズを18mm、みかけ視界65度のものに交換して倍率24倍での観望。彗星の明瞭な核が確認できましたし、それを取り巻くような広がりのコマ(太陽側は円形で、尾に相当する反対側は不明瞭)と、明らかな尾の方角への拡散光が見えました。[メモ:2023年1月に中国の紫金山天文台と南アフリカのアトラス望遠鏡で発見された非周期彗星]

◆ 編集後記 ◆

◆ 2024年の今年の漢字は“金”これまで5回選出された漢字とのこと。オリンピックイヤーで物価高、さらには政府主導でベースアップや最低賃金の改善、103万円の壁問題など、カネの話題は今後も続きそうです。

目を空に向けると、「金星と土星が接近(2025年1月)」が国立天文台HPIにありました。1月18日と19日が夕方の西の空に、最も近づいて見えるとの事。

両日とも離角 はほぼ同じで、約2.2度です。これは満月の見かけの直径(約0.5度)の約4倍の距離。金星のマイナス4.6等に対して土星は1.1等で、金星の方が200倍近くも明るく輝いています。土星を見るためには望遠鏡が良いかも。引き続き“金星”で宵の明星を楽しみたいものです。(辺)